

みんな いきいき

# 彼方ネット

第 56 号

令和6年 3月28日

彼方小学校区地域教育協議会

事務局 富田林市立彼方小学校内

住 所 富田林市彼方411番地

TEL 0721-34-3105

FAX 0721-33-5523



## 新春 おもちつき大会

ふれあい委員長 片山浪世

ふれあいフェスタ復活から1年。今年度は1月13日に無事新春餅つき大会を再開させることができました。当日は朝から爽やかな晴天に恵まれ、沢山の方がつきたてのお餅やできたてのポップコーンに舌鼓。実際に杵を持って餅つきの体験も楽しんでもらいました。同時に献血車による献血も行いました。たくさんの方にご協力していただいたことをうれしく思います。

4年ぶりの開催でスタッフも未経験の方が多く、手探りだった場面もあったかと思いますが事故なく楽しく終えられたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。



とても気持ちのいい青空の下、おもちつきができました！休憩場所も大盛況～！大人も子どもも舌鼓♡



地域の方や、PTAさんたちがおもちを丸めてくれました。おもちもポップコーンも大人気！

### 彼方ネットって？

正式名を「彼方小学校区地域教育協議会」といいます。

彼方小学校区の学校園・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、相互の連携を深めながら、校区の子どもたちの健全育成を図ることを目的とし、「地域の子どもは、地域で育てよう！」をスローガンに活動しています。子どもたちの「生きる力」が豊かに育つために、地域の多くの方々のご協力をお願いします。

参加団体（令和6年3月現在）

- ・13町会
- ・民生児童委員
- ・主任児童委員
- ・青少年指導員
- ・防犯委員
- ・福祉委員
- ・老人会
- ・スポーツ推進委員
- ・「放課後子ども教室」実行委員会
- ・彼方小学校
- ・彼方小学校PTA
- ・彼方幼稚園
- ・彼方幼稚園PTA
- ・彼方保育園







## 見守り隊感謝集会

彼方小学校

2月21日(水)に、小学校の集会で、小学生の登下校を見守ってくださっている「子どもの安全 彼方ネットワーク」の皆さんをお招きして、小学生から感謝の気持ちを伝える「見守り隊感謝集会」が行われました。小学校からは児童会代表の児童が「子どもの安全 彼方ネットワーク」の皆さんへの感謝の言葉を伝え、また見守り活動をされている皆さんからは一言ずつお言葉を頂戴いたしました。

「見守り隊感謝集会」に参加された皆さま、そして、日頃見守り活動をされておられ感謝集会当日参加できなかった皆さま、小学生の安全な登下校にご尽力いただき、まことにありがとうございます。

また、小学生の登下校時刻に通学路近辺を散歩されるなど、ちょっとした見守り活動をしようとお考えの方がおられましたら、小学校までご連絡ください。「子どもの安全 彼方ネットワーク」の見守り活動グッズをお渡しいたします。



## 「おにはぞと!みくはうち!」 伝統行事を大切に おちかたほいくえん

今年も2月2日に節分の行事を行いました。子どもたちは、彼方保育園で恒例になっている七輪でイワシを焼いたり、豆を炒ったりするところを見て匂いを感じたり、柵にイワシの頭をつけて門(お家では玄関)に飾ることや、豆まきなどの由来を聞きました。今年も、ひまわり組(5歳児クラス)の子どもたちは、新聞紙と和紙を何枚も貼り重ねて、張り子のお面を作りました。とても根気のいる作業ですが、みんな頑張って作り素敵なお面ができました。そして今年も、3歳児・4歳児・5歳児の子どもたちが、自分たちの中にある鬼(弱いところ)を豆まきと一緒に退治し、手紙にしたものを、豆まきの後仲良くなった鬼に持って帰ってもらいました。これからも、伝統文化を子どもたちに伝える行事を大切に行っていきたいと思います。



## おちかたようちえん

## お茶会を楽しんでいます

彼方幼稚園は毎月1回、地域のお茶の先生をゲストティーチャーとしてお招きし、園児がお茶会を楽しんでいます。5歳児中心の活動ですが、秋からは4歳児も加わり、お作法を学んでいます。

『お先にいただきます』『どうぞ』という、謙虚な気持ちや、『友達のためにおいしいお茶を点てる』『友達が点てたお茶、おいしかった』など、相手を思いやる気持ちを育てています。

始めは静かに座ることが難しかった子どもたちも、正座することや歩き方、お辞儀の仕方など、少しずつできるようになってきました。

2月26日にはおうちの方に参加していただき、おうちの方のためにお茶を点てました。おうちの方も「とてもおいしかったです」と喜んでいただきました。最後にお茶の先生から「習のはじめ」という書状とプレゼントをいただき、大満足の子供たちでした。

いつまでも“謙虚な心”と“思いやりの気持ち”を大切にしてほしいと願っています。



## 編集後記

岡田 奈末子 広報委員長

みなさん、蛇口から水が出る、電気が通じているなど生活するうえで必要な状況を当たり前だと思っているでしょう。でも、災害に遭うと断水や停電してたちまち不便になります。

元日に起こった能登半島地震では甚大な被害が出て、未だに断水している地域や避難所生活を送っている方がたくさんおられます。被災の報道を見ると、防災について考えさせられ、不自由なく生活できる事を有難いと感じます。当たり前って、人によって基準は違うと思いますが、感謝の気持ちを忘れないようにしたいですね。

